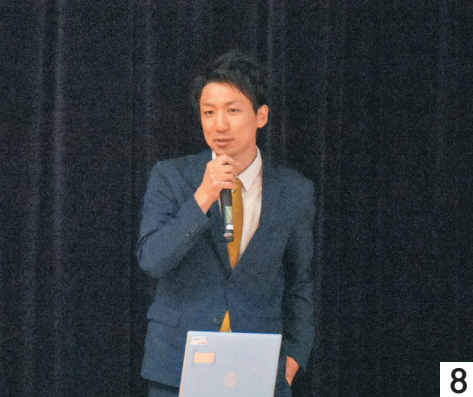




8



6



9



7



4



5



2



3



1

1_参加者を代表して誓いの言葉を述べる立柳さん
2、3、4_恩師や旧友との再会を喜ぶ 5_会場入り口の
パネルで記念撮影 6_真剣な表情で式典に臨む 7_民
族衣装ベッソー(男性用)とロンジー(女性用)を身にまと
い式典に臨んだミャンマー出身の参加者 8_講演で参加
者に自身の経験を伝える高橋氏 9_参加者に式辞を贈る
佐々木市長

二十歳のつどいは8月15日、西根
地区市民センターで行われました。
当日は対象者219人のうち、
122人が出席。参加者は、真新し
いスーツや色とりどりのドレスに身
を包み、旧友らと新たな門出を喜び
合いました。

式では、佐々木孝弘市長が「さまざ
まな人からアドバイスをもらい、自
分の人生の目標と挑戦を忘れないこ
と。一生懸命生きること、良い方
向への道が開けてくる」と激励しま
した。続いて、出席者を代表し、立
柳萌依さん、松尾中卒Ⅱが「みな
がそれぞれの道に進んでいることを
知り、私も進むべき道を自ら切り開
き、歩んでいかなければならないと
感じました。感謝を忘れず、成人と
しての決意を胸に、これからの人生
を力強く歩んでいきます」と誓いの
言葉を述べました。

式典終了後は、平館地区で学習塾
を運営する学び舎Platform
代表の高橋大介さんが
「八幡平市の楽しみ方」と題し講演。
「自分のやりたいことをやるために
は、やりたくないこともやらなけれ
ばならないのが社会人。やりたいこ
とを見つけ、小さなことからチャレ
ンジしてほしい」とエールを贈りま
した。

決意新たに 二十歳の門出

令和6年度二十歳のつどいを開催

平成15年4月2日から平成16年4月1日生まれの219人を対象に、8月15日に二十歳のつどいが行われました。節目を祝うため開かれた本式典では、恩師や旧友との再会を喜ぶ姿や、希望を胸にりりしい表情で式に臨む姿が見られました。本号では、式典当日の様子をお伝えします。



松尾中学校



西根第一中学校



西根中学校3組



西根中学校2組



西根中学校1組

Photo
参加者
を
集合写真で紹介
※卒業当時のクラスごとに撮影

参加者に聞きました

二十歳の思い

地域づくりを担いたい

大学でロシア語を学んでいます。ウクライナの戦争が始まった時期と進学時期が重なったことがきっかけで、戦争による被災支援に興味を持ちました。

将来は、地域づくりなどを担う民間企業への就職を考えています。



西根 中 卒
吉田 大朗 さん

子どもの成長に貢献

子どもが好きなことと、たくさんの楽しい思い出が記憶にある小学校の先生を目指し、大学で勉強に励んでいます。

子どもたちの成長に貢献できる先生になりたいです。



西根第一中卒
中村 百花 さん

さまざまな経験を積み重ねたい

横浜市で会社員をしています。八幡平市はいつ帰ってきてても温かく迎えてくれると改めて感じました。

キャリアを積んだ後は、人の温かみを感じられる場所で暮らしたいです。



松尾 中 卒
内田 紗希 さん

どこでも活躍できる人間に

東京の大学で勉強しながら、本年度のインカレで優勝することを目標に、ノルディック複合の練習に取り組んでいます。

将来は、どの分野であっても活躍できる人間になりたいです。



安代 中 卒
成田 健太 さん



市内の事業所で勤務するミャンマー出身のインナダ ビョーさん(左から3人目)とソー ミンサッ チョーさん(左から5人目)



安代中学校